

N O R C ニ ュ ー ス

社団法人 日本外洋帆走協会

猛暑、炎暑に見舞われた今夏も会員各位におかれては、もつぱら洋上に心おきなくクルージングされ帆走技術の向上に鋭意はげまれたことと思います。

別記のとおり、上半期レース入賞艇表彰式、恒例の鳥羽パールレース（才 8 回）も盛会のうちに終了いたし、会員鹿島郁夫氏による壮挙は「ヨット」についての認識をたかめ、また内海、東海及び京都各支部においても活発にレースを催され、今夏の鳥羽パールレースにはそれぞれ出艇され平素の練磨振りを発揮されました。

なお、東海支部にては、海幕、護衛艦隊旗艦「あきづき」を半田港に招き、同艦上にて盛大な衣浦フリート結成式並びに 1 9 6 6 入賞艇表彰式を催すなど N O R C の躍進振りを公開しました。

京都支部に於ても会員の増加と相待つて、相次いでレース展開鳥羽パールレース参加のシーメートは帰航時明石方面へ廻航されました。

ヨット無線の専用波が認可

兼てからヨット、モータボートの為の専用無線の波長を申請していましたが、今回 2 7 M C . D . S B 1 W の専用波の割当を受けました。

この波長は、ヨットは勿論プレヂャーボート（除営業船）の総てが使用する為に認可されたもので将来は全国三島岸に無線基地局が出来れば非常に便利になります。

今回は取敢ず関東水域は神奈川県ヨット無線協会（会長 鈴木正幸氏）が設立され基地局を開設し無線業務を開始しました。

ご参考迄に神奈川県ヨット無線協会への入会入会申込書に下記金額を添えて申込下さい。

1. 加 入 金 3,000

2. 出 資 金 5,000

3. 会 費 24,000(年 額)

移動局(ヨットに設置)の送受信機は約110,000位します。

◇ 各 委 員 会 よ り の 報 告

1、総務委員会

常任委員会の開催

オ6回……昭和42.6.13(火)18:30 出席者 16名

議 題

1. 「オ17回大島レース」終了に伴う経過報告
2. 「オ2回初島レース」(6/24-5)の開催について
3. 小網代湾内の埋立、防波堤建設工事に伴う船舶の航行注意について(横須賀海上保安部通達)
4. 1967*上半期レース入賞艇表彰式及び懇親会(会費徴収)の開催について
5. そ の 他
 - A)運輸省業務監査終了報告
 - B)そ の 他

オ7回……昭和42.7.11(火)18:30 出席者 21名

議 題

1. 「オ2回初島レース」終了に伴う報告
2. 「オ8回鳥羽パールレース」(7/28-30)の開催について
3. 1967*上期入賞艇表彰式について
4. そ の 他

オ8回……昭和42.8.17(木)18:30 出席者 16名

議 題

1. 「オ8回鳥羽パールレース」終了に伴う経過報告

2. クルーザー海洋教室の開催について
3. 物品税減税対策委員会の動静について（報告）
4. そ の 他

2、安全委員会

去る 8 月 4 日神奈川県庁職員会館において神奈川県農政部水産課漁船保安係主催による「小型船舶安全対策に関する協議会」に横山安全委員長出席されました。

その要旨をお知らせします。

◎ 小型船の安全規制についての神奈川県条令について

船舶安全法才 29 条により、船舶安全法から除外されている旅客船以外の下記

- (1) 20 トン未満の帆船
- (2) 5 トン未満の動力船、ろかい船
- (3) 平水区域のみを航行する帆船

の安全規制を最近、神奈川県が準備しつつある。これは運輸大臣の要望によるもので、主として遊漁船を対照とするものであるが、遊漁船以外の小型艇（自家用ヨットを含む）にも適用される条令を、来年から実施する予定で準備が進められている。

遊 漁 船 と は

- (1) 漁業を行なう目的以外の目的で、船内において水産動植物の採捕を行なう者が乗船する船舶
- (2) 水産動植物の採捕を観覧する者が水産動植物の採捕を行なう者と共に乗船する船舶を総称している。

その条例の内容は

- (1) 遊漁船は、営業用自家用を問わず神奈川県農政部の検査を受けねばならず、航行水域と最大定員の厳守や安全備品の整備が強制される。
- (2) 遊漁船以外の小型艇は、航行水域や検査の強制を受けないが、最大定員などは届出ねばならないし、安全備品は整備せねばならない（但し N O R C 安全規則よりは遥かに

下廻った規準である)

- (3) 神奈川県は、小型船に立ち入り検査を行う権限を持ち、違反者に過料(2,000円以下)を課する職権を持つ。

概略 以上の主旨となる予定、NORC安全委員会は、この件に関心を持ち、今後も情勢の進展があれば報告する予定であります。

3、計測委員会

前号NORCニュースにて発表いたしました計測日を一部変更し、当日の担当者も決めましたからお知らせします。

9/10 (周東委員)	10/15 (稲垣委員)
11/19 (村本委員)	12/3 (周東委員)

なお、会員小林和夫氏が社用でロンドンに出張されました折にRORCより計測要具を購入していただきました。

新器具による計測実施まで、現行のレーティングの有効期間(2ケ年)を延長することになりました。

4、レース委員会

上半期のレースは無事故のもとに各レース共好成績を収め去る7月16日13:00より賑々しく江の島ヨットクラブで表彰式を催し、才1回八丈島レースの優勝艇CHITTA IIは揃いのブレザーコートに威儀を正した乗員村井氏他2名が来場され高松宮杯、関谷(会長)杯を万来の拍手に迎えられて授与をうけ、ひときわ印象深いものがあつた。なお、新規ご寄贈によるオリンパス杯、舵杯共KELO니아の占めるところとなり才1回大島廻航レースの天山杯も併せて獲得され三冠王の貫録を示した。

本年度下半期の計画レースは既報のとおりで月例ポイントレースを始め下記のとおりですから奮ってご参加願います。

申込み締切り日には特にご留意下さい。なお、レース参加艇(月例ポイントレースも含む)はNORC安全規則による安全検査を完全に済し、又計測も計測委員と充分打ち合せの上実測を

済して出場するよう不本意の結果を招かない様に願います。(麻里記)

才12回神子元島レース(10/20~22) 申込締切日: 9/25(月)

才3回初島レース(10/28~29) " " 10/2(月)

才5回小網代カッブレース(11/25~26) " " 11/5(月)

- ◎ 才2回初島レース、才8回鳥羽パールレースの経過報告、成績表及び会計報告(1967* 上半期ポイントレース含む)等は後記のとおりです。

5、海事普及委員会

◎1967年度クルーザー教室の報告

今年度は受講者の数を10名に限り、座学と実習を並用して開催致しました。

その結果は、大体目的を達したと思います。今年の受講生の中からすでにオーナーになつた受講生が2名。その1名は、新艇により鳥羽レースに出場して居ります(加藤氏)次の一艇(伏原氏)は10月に完成、東海水域で活躍することと思います。

現在迄に教室受講者約100名、その中で24隻程は、オーナーになつて居られます。

今後も、この様な方法で着実にクルーザー教室を続けて行くつもりで居ります。

クルーザーの教育は一時に数十名に教えると云うことは不可能と思います。日本のヨット界もヨットマンの数を無意味に増加させるよりも、小数精鋭主義で行くべき時が来たと思いますので、各位もその点につき御協力御願致します。

海事普及委員長 関 根 久

☒ ペナントの交歓

当協会 関谷会長は去る8月27日夜ホテルオークラにて来遊中の米国THECATBOAT ASSOCIATION のJ.M.LEAVENS 会長夫妻の懇請により歓談され、その折ペナントの交歓をされました。

1967'クルーザー教室会計報告

N O R C 関東支部

海事普及委員長

関 根 久

収 入 の 部

受 講 料 (1 0 名) 1 0 0 , 0 0 0 円

合 計 1 0 0 , 0 0 0 円

支 出 の 部

教室借用料 (3/23.4/6.5/11.6/29 計 4 回) 5,000

教 材 費 4,700

講師、助手謝礼 (座講、実習) 35,600

食 事 代 (座講、実習) 34,400

お 茶 代 (全 員 分) 1,470

実習艇借料 (7 回) 35,000

交 通 費 (講師、助手) 20,040

合 計 136,210

差引不足分 36,210 円

水路委員会

- ◎ ヨットのための港湾メモ（舵誌上に水路委員会で掲載したもの）をまとめて会員に配る件
舵誌のご協力で7月末才1巻ゲラ刷を完成、宇都宮氏（しきね船長）に校正を依頼。8
月下旬校正完了、9月には会員にお配りできる予定です。
特別会員（オーナー）には無料、普通会員、準会員には実費をいただくよう計画していま
す。

引きつゞき来年度には才2巻をまとめるつもりです。（福永水路委員長）

☒ 物品税減税対策委員会

ヨット・モーターボートに対する現行物品税については、かねてからその不当を嘆じてお
り、受益者一団となつて減税陳情に当たるべく、去る5月24日才一回の会合を催し、次后
下記のとおり会合を続行しています。

才1回 5/24 才2回 7/7 才3回 7/19

才4回 8/4 才5回 8/11 以上

出席者（略敬称）

舟艇協会 土肥勝由

日本ヨット協会 岩田、和田

N O R C 飯島、渡辺、外山、大儀見、久保田、関根、横山、福永、竹下、
周東、名和、則武、麻里

去る8月11日の会合には造船所、関連工業の方々の参集を得て業界の団結を進言し了承
を得た。

出席者（略敬称、順不同） 中台（リンフォース工業）

河原（岡本造船） 加藤（加藤ボート工業）

鈴木（オリエンタルボート） 熊沢（三河造船）

黄地（東京ヨット）

原（ニュージャパンマリン）

委任～辻堂加工、トーアヨット、ツボ井ヨット

1967' 上半期レース入賞艇

N O R C

レース名 賞別		才1回初島	才1回八丈島	才1回大島廻航	才17回大島	才2回初島	
総合賞	1	KELONIA	CHITA II	KELONIA	も さ III	KELONIA	
	2	も さ III	MISS SUNB IRD	OLYMPUS II	SHARK X	も さ III	
	3	SHARKX	さがみ II	SIRENA	かまくら	朝 風	
クラス賞	II	1	潮 風 III	CHITA II		潮 風 III	
		2	—	—	MISS SUNB IRD	—	
	III	1	TONGA	さがみ II	TONGA	さがみ II	TONGA
		2	竜 王 丸	—	—	TILDE	さがみ II
		3	—	—	—	—	SALMON II
	IV	1	も さ III		SIRENA	も さ III	も さ III
		2	SHARKX		とんがめ VI	SHARKX	かまくら
		3	SIRENA		はやとり	かまくら	SHARKX
		4	—		—	SIRENA	とんがめ VI
	V	1	KELONIA		KELONIA	朝 風	KELONIA
		2	—		—		朝 風
	ファスト ホーム賞		MISS SUNBIRD	MISS SUNBIRD	竜 王 丸	MISS SUNBIRD	潮 風 III

相 模 湾 1位 竜 王 丸

ポイントレース 2位 CONTESSA II

(上期分) 3位 TONGA

1967年第2回初島レース報告

レース帆走委員長 戸 田 邦 司

1. スタート:

昭和42年6月24日(土)21:00

2. コース:

小網代—初島(時計回り)—江の島 約48哩

3. 出走艇:

29隻(参加人員162名)

4. 天 候:

曇り、はじめはSⅢの微風、のち風は更におち、25日午前10時頃からSWとなつて、フィニッシュ時(25日12.00~13.00頃)は5~7W/S。

5. レース経過:

スタート後初島までのコースは微風の追手で、初島に近づくにつれて風はおち、おくれた艇ほど廻航に苦心したもようである。トップグループのトンガ、ミスサンバード、さがみⅡ等は25日03.05頃初島南端を東にみており、続いて潮風Ⅲを除くクラスⅡ、クラスⅢ及びクラスⅣのもさⅢ等5隻が03.50までの間に同位置に到達している。04.00~05.00に同位置に到達したのはわずか2隻でクラスⅤの全艇、潮風Ⅲその他が05.00以降に廻航している。

3時間に涉つて初島を廻航しながらも微風のため全艇それ程の差がなく一団となつて江の島に向つたが、潮風Ⅲは極端な沖コースを、もさⅢ及びマイグレーターがこの中間位のコースをとり、これらの艇は09.30頃から吹き出したSWを早目にとらえて有利となり、潮風Ⅲは12.07トップでフィニッシュ、続いて1時間のうちに殆んどフィニッシュしてしまった。

大部分が微風のため大型艇にとつてはまことに気の毒な結果となつた。時間修正の結果ケロニアが総合優勝となり、このレースのために舵社から提供されたJOG杯も獲得することとなつた。

なおオリンパスⅡは早すぎたスタートをし、スタートラインにもどる際に正しくスタートせんとした利根に避航をよぎなくさせたのでNORCレース規則に定めるところにより5%のペナルティを課した。

またスタート5分前以後まで棧走していた艇(艇名確認できず)があつたことは残念なことであつた。

1967'第2回初島レース会計報告

レース帆走委員長

戸 田 邦 司

収 入 の 部

参加申込料	31隻	31,000円
参加申込遅延料	2"	4,000円
参加料(会員)	108名	54,000円
“(一般)	21"	42,000円
計		131,000円

支 出 の 部

レース本部運営費(宿泊費、食費、交通費)	39,355円
才1回艇長会議借室料	2,100円
コミッティーボート借料	3,000円
通船借料	2,000円
印刷費(帆走指示書、出艇表等)	1,500円
謝礼金(江の島ヨットクラブ他2件)	5,700円
雑費(電池等)	1,720円
計	55,375円

差 引 残 額

75,625円

第 8 回 鳥羽 パール レース 報告書

鳥羽パールレース恒例の前夜祭はチタⅡ、カラーサ両艇の大平洋横断の祝賀を兼ねて行われ、関谷会長を初めとし関東、東海、内海さらに京都の各支部からと、鳥羽市長、鳥羽海上保安部長その他地元関係者多数が出席し真珠島の関係者をあわてさせる程大盛況のうちに終了しました。

レースは安定した夏型気圧配置の中で行われましたが、スタートの28日から29日の日中までは東高西低で南風が吹き、夕方から南風が弱まって30日には完全に高気圧におまわられて弱い海陸風に変ったため、大型艇に有利となり、MISS・SUNBIRDの完全優勝に終った。黒潮の流れを利用しようとして、神子元島の南を通り大島ぎりぎりのコースを取った船が14艇と、過半数を占めたが、島附近は風が弱かったため、追込みがきかず、一方伊豆半島沿いのコースを取った艇は風に恵まれて、サーモンⅡ、サガミⅡ、それに初陣で健闘2位になった明日香などが6〜8^{kt}で走り好成績を修めた。又、関西のホープ、ミネルバⅢは、スタートと同時に岸寄りを飛び出し、MISS・SUNBIRDとせり合っていたが駿河湾沖からスピードが落ち、さらにフィニッシュ前に風が弱まったため4時間の差をつけられた。注目のクロニヤは石廊崎附近でベロンコに合い潮に流されて、5時間を漂っていたのがたゞり結果はよくなかった。

30日16.25分に最終艇のサモンⅠが浅走でフィニッシュラインを通過して、NAVY BLUEⅡのテイラートラブルがあつた外無事レースを完了しました。

今回長距離レースであつたため、レース委員とレース参加全艇了解を得て、サーモンⅡの無線電話を試験的に使用しました。連絡時刻は毎日09.00と15.00の2回にしたため無線の到達距離のチェックは出来なかつたがレース艇の位置と附近の海象及びフィニッシュ時刻の推定が出来、海上保安部との連絡、家族からの問合せ等にも役立ち運営本部としては非常に好都合でありました。

毎度のことながら、海上保安部の皆様に厚くお礼申し上げますと共にミキモト真珠島の皆様、更に城ヶ島灯台博物館の皆様にお礼申し上げます。

レース委員長 守 屋 克 巳
(42.8.15)

第 8 回 鳥羽 パール レース 会 計 報 告 書

(4 2 . 8 . 1 7)

レース帆走委員長 守 屋 克 巳

収 入 の 部

参 加 申 込 料	2 4 隻×1, 0 0 0.-	2 4, 0 0 0.-
参 加 料 (会 員)	8 9 名× 5 0 0.-	4 4, 5 0 0.-
〃 (一 般)	1 8 名×2, 0 0 0.-	3 6, 0 0 0.-
真珠島前夜祭会費	1 6 5 名× 5 0 0.-	8 2, 5 0 0.-
計		1 8 7, 0 0 0.-

支 出 の 部

レース本部運営費 (宿泊費、食費、交通費)	6 1, 8 3 2.-
才 1 回艇長会議借室料	2, 4 5 0.-
特設電話及電話料	2, 7 8 7.-
真珠島前夜祭会費	8 2, 5 0 0.-
コミッティーボート、モーターボート、テンドー借料	2 0, 0 0 0.-
歓迎会 (コラーサ) 歓送船飲料費	9, 7 1 0.-
謝 礼 品 代 (鳥羽海上保安部)	1, 5 8 0.-
〃 (城ヶ島灯台博物館)	3, 5 4 0.-
印刷費 (帆走指示書)	3, 6 0 0.-
航跡図 (チャート代及コピー代)	2, 4 0 0.-
雑 費	2, 0 2 0.-
東海支部連絡費	7, 3 6 5.-
計	1 9 9, 7 8 4.-

差 引 不 足 額

1 2, 7 8 4.-

第8回鳥羽パールレース成績表

着順	クラス	艇名	T.C.F	到着時間	所要時間	修正時間	オーナー艇長	順位	
								クラス	総合
1	II	MISS SUNBIRD	.828	29日 14.10.47	27.10.47	22.30.17	山崎達光	II 1	1
2	"	MINERVA III	.736	17.58.31	30.58.31	24.20.48	貴伝名一良	" 2	6
3	III	SALMON II	.756	18.15.56	31.15.56	23.38.12	富永弘	III 1	3
4	"	月光 II	.744	19.17.19	32.17.19	24.01.22	清水栄太郎	" 2	4
5	IV	明日香	.703	19.20.46	32.20.46	22.44.22	加藤栄美	IV 1	2
6	III	さがみ II	.741	19.50.27	32.50.27	24.20.06	飯島元次	III 3	5
7	"	竜王丸	.748	20.49.40	33.49.40	25.18.11	奥田広男	" 4	11
8	II	MIGRATOR	.807	21.02.37	34.02.37	27.28.23	R.BERKELY	II 3	12
9	IV	もさ III	.710	22.21.10	35.21.10	25.06.02	小泉信一	IV 4	9
10	"	SIRENA	.708	22.24.59	35.24.59	25.04.29	大儀見薫	" 3	8
11	"	EPICUREAN	.702	22.34.00	35.34.00	24.58.04	榊原嘉男	" 2	7
12	"	NAVY BLUE II	.707	22.34.52	35.34.52	25.09.21	角田博	" 5	10
13	III	スターダスト	.749	30日 03.23.02	40.23.02	30.14.51	藤山陽三	III 5	17
14	IV	ドンドロ I	.701	04.38.25	41.38.25	29.11.23	前田豊一	IV 6	13
15	IV	BALLERINA	.701	05.05.46	42.05.46	29.30.34	C.V. CHRISTIANSEN	" 7	14
16	"	はやとり	.707	05.34.59	42.34.59	30.06.22	名当英臣	" 8	16
17	V	KELONIA	.677	06.47.35	43.47.35	29.38.52	西村真	V 1	15
18	IV	QUERIDA	.707	07.31.33	44.31.33	31.28.47	浅見和也	IV 9	18
19	IV	どんがめ VII	.702	08.48.50	45.48.50	32.09.41	落合公平	" 10	19
20	"	シーメート	.713	10.40.11	47.40.11	33.59.19	岡島収	" 11	20
21	"	うずしお	.712	10.50.54	47.50.54	34.04.05	小島基作	" 12	21
22	V	SALMON	.687	16.25.	(棧走)	DNF	松田紀元		
23	IV	潮	.712	.	(取止)				
24	"	NADJA II	.701	.	(")				

1967'上半期 相模湾ポイントレース会計報告

相模湾ポイントレース運営委員会

摘要		月別						計
		1	2	3	4	5	6	
収入		46,000	32,000	46,000	38,000	42,000	48,000	252,000
支	パーティー費	12,000	10,000	12,000	10,000	12,000	20,000	76,000
	コミティーボート使用料	7,000	4,000	3,000	7,000	3,000	-	24,000
	マク・葉山	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	12,000
	" 江の島	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	12,000
	" 小網代	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	12,000
	ガソリン代	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	9,000
	交通費	1,620	900	1,400	780	1,260	3,200	9,160
出	通信費	480	250	280	275	370	350	2,005
	コミッティー事務局費	4,200	2,800	3,800	2,700	2,600	1,300	17,400
	飲食・宿泊費	280	-	670	-	100	420	1,470
	カッブ代	-	-	-	-	-	43,000	43,000
	ヨッテル使用料	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	18,000
	計	36,080	28,450	31,650	31,255	29,830	78,770	236,035
差引計		9,920	3,550	14,350	6,745	12,170	△ 30,770	15,965

42.8.18

☒ 会員の異動

特別会員より普通会員へ

4193 横山 晃 (松)

5525 石崎 卓 (神州)

普通会員より特別会員へ

4477 佐藤和義 (松)

脱会申込者

5567 石井桂二 (KAY-SEVEN)

4486 鈴木元邦 (JUNE BRIDE)

☒ 新登録艇紹介

セールス係	艇名	RIG	クラス	T.C.F	LOA×LWL×BXd	オーナー	フリート
394	FIVEANGELS	S	IV		26'× 20'×7'6 ¹ / ₂	武部喜一	油壺
607	NOBLANI	"	"		7.473×6.100×2.363×1.410	E.P.SEAVER III	"
608	明日香	"	"		24'11"×20'0"×7'6"×5'0"	加藤栄美	諸磯
609	彩雲	"	"		7.695×5.800×2.240×1.470	栗田良之	江の島

クルーザー海洋教室終了報告

協賛艇 12艇

参加人員 日本海洋少年団 38名

はまゆう会々員 4" 計 43名

学 研 1"

8月27日09:30参加者集合09:40より各艇に配乗、10:30LOTUSを先頭に出航す。出航時S5~7米、前夜来の強風がおさまったばかりでうねりのみ強く、油壺入口では三角波になやまされ、各艇共ビッチング甚だしい。ために参加者中にマグロ続出の有様、此の状況の中を艇団は縦陣機帆走にて油壺沖2海里に至り帆走に入り、城ヶ島外周に向う。トランシーバー不調、視界不良(2マイ

ル)で手旗の判読も不十分で艇団間連絡に多少不手際があつたが、単位艇団毎の自主帆走に切替え通信不能をカバーして、編隊帆走を完遂出来たことは偏えに協賛艇各位の御努力、操艇技術の練度の結果と深く感謝致します。城ヶ島到達以前に「とらふぐ」先づ参会者2名舟酔いのため反転、油壺帰投。他艇は島を廻り城ヶ島岸壁に接舷昼食。OLYMPUS II、III世は予定通り三崎沖に達し、視界不良のため他艇団を視認出来ぬまゝ反転、三崎港にて全艇集結、定刻油壺に入り予定スケジュールを無事終る。参会者舟酔続出の海況下でNOROメンバーは全員艇体共に何等のトラブル無く其の実力を発揮出来たことに参会者は一驚していた模様で今回の企画がNORO並びにクルーザーの実体把握のPRに役立ったこと大変嬉しい。

関東支部海事普及委員 落 合 公 平

上述の行事に対しまして社団法人日本海洋少年団連盟会長名にて丁寧なお礼状をいただきましたので披露します。

昭和42年8月28日

日本外洋帆走協会 殿

社団法人 日本海洋少年団連盟
会 長 山 県 勝 見

拝 啓

残暑なお、きびしき折益々御健勝のことと存じます。

さて、海洋少年団は、海に親しみ、海に学び、海に鍛えることをモットーにし、カジ ー、手旗、結索などの訓練に励んでおりますが、今般日本外洋帆走協会においてクルーザー教室を開催するに当り、都内高級団員多数がこれに参加させて頂き、まことに有難うございました。ヨットはもとより、中には船に乗るのさえ始めてという団員もいて大変御迷惑をかけたと思います。

いづれにせよ参加団員たちは、クルーザーの概念を知ると共に数々の貴重な体験を得たものと思ひます。

ここに各艇の皆様へ心から厚く御礼申し上げますとともに、今後又機会がありましたなら、才二、才三のクルーザー教室をお願い申し上げたいと思います。

先は書中を以てお礼申しあげます。

敬 具

(関 東 支 部)

会 員 氏 名	住 所 (TEL)	勤 務 先 (TEL)	フリート	所 属 艇
(特 別 会 員)				
7816 E.P. SEEVER	港区芝伊皿子町33 伊皿子アパート405 (442) 5780	アメリカントレーディングCO. ジャパンLTD (431) 5141-9	油 壺	NOELANI
7817 武 部 喜 一	松戸市小金清志町3-68 (0473) 41-0307	立教大学学生	"	FIVE ANGLES
7833 加 藤 栄 美	品川区戸越1-9-6 (783) 8833	(K) 明日香工業 (782) 2865	諸 磯	明 日 香
7840 安 藤 彦 郎	横浜市中区相生町5-811 (045) 641-1569	コーヒーマン安藤商会	江の島	MI - MI
7845 栗 田 良 之	" 戸塚区岡津町1157 (045) 81-4534	久米建築事務所才三設計室 (572) 1401	"	彩 雲
(普 通 会 員)				
7815 深 谷 和 夫	長崎市花塚町165 米倉方	長崎造船大学船舶工学科	長 崎	白 鯨
7818 横 山 一 郎	横浜市磯子区岡村町763 (045) 761-2964	東京大学学生	油 壺	朝 風
7819 頼 義 人	" 戸塚区中野町213-26 鎌倉 (6) 1221	日商K.K.	"	稲 竜
7820 山 本 雅 通	川崎市千年中町956-1	日黒電報電話局 (712) 9017	小網代	飛 車 角
7821 石 田 隆	横須賀市追浜2-41 (61) 6525	法政大学工学部土木科学生	"	竜 王 丸
7825 鈴 木 憲 幸	茅ヶ崎市西久保675	日本航空K.K. 中央レザベーション管理所 国際予約管理課 (742) 7111	油 壺	月 光 II
7826 W.B. JACKSON	横須賀市佐島天神ヶ崎12-1500大楠 (6174)	AMERICAN CHAMBER OF COMMERCE IN JAPAN (211) 5861-3	横須賀	MIGRATOR
7828 唐 沢 明 義	豊島区南池袋3-9-5-617 (971) 1344	講談社ヤングレディ編集部	油 壺	八 丈
7829 千 葉 徹 也	横須賀市追浜南町1-15 (61) 3700	インターオア (211) 3691	諸 磯	CHRISTINA
7831 大 田 弘 典	大田区中央4-31-6三晃荘内 (773) 1461	三晃荘東京事務所 (773) 1461	小網代	ど ん が め VII
7832 佐 本 昭 生	横浜市南区清水ヶ丘190 横浜国立大学工学部才1寮 (045) 231-9244	東京大学生産技術研究所 4部 加藤研究所	"	飛 車 角
7834 曾 山 嘉 夫	大田区北馬込2-52-4 (771) 2036	慶大医学部学生	"	SALMON I
7835 都 築 秀 明	世田谷区赤堤5-35-8 (322) 5648	東京生命K.K. 不動産課 (591) 5231	油 壺	卯 月 II
7836 関 野 英 夫	杉並区大宮前3-85 (398) 2768	(財) 資料調査会 (441) 5330	諸 磯	明 日 香
7837 関 野 通 夫	" " " "	本田技研工業K.K. 部品部	"	"
7838 白 谷 多 巳 男	鎌倉市腰越3-28-14 (0466) 22-4025	吉原鉄道工業 (942) 0288	江の島	マウブテイ II
7841 小 坂 順 孝	藤沢市鵠沼海岸3-13-15 (0466) 36-4503	石川島播磨重工業K.K. 化工機予算1課 (531) 5111	"	さ ち か ぜ
7842 原 与 志 胤	横浜市磯子区丸山2-3-2 (045) 751-0940	横浜国大経済学部 (045) 23-5255		
7846 竹 内 秀 夫	渋谷区神宮前5-8-8 (409) 4416		油 壺	神 州
7847 三 尾 和 也	大阪府堺市草部253 堺 (7) 0279	三尾診療所 堺 (7) 0279		
7848 鯨 井 征 一	横浜市保土ヶ谷区常磐台282-98横浜 (331) 0187	鯨井事務所 (201) 7636	小網代	飛 車 角
(準 会 員)				
7822 浜 野 元	世田谷区瀬田町856 (700) 4064	日本大学横浜学園高等学校	江の島	浜 弥
7823 遠 藤 愛 一 郎	" " " (701) 3154	成 蹊 高 校	"	"
7824 水 野 俊 命	新宿区角筈3-144 鈴木方 (342) 0029	明治大学学生	諸 磯	OLYMPUS II
7827 樫 田 善 太 郎	大田区田園調布3-33-7	慶応大学学生	横 浜	のぶちゃん
7830 竹 下 政 義	港区高輪2-15-6 (441) 1564	" "	江の島	潮 風 III
7839 白 谷 喜 三 雄	鎌倉市腰越3-28-14 (0466) 22-4005	成城大学学生	"	マウブテイ II
7843 富 沢 満	横須賀市船越3-49	横浜市大学生	諸 磯	OLYMPUS II
7844 本 間 純 孝	杉並区下井草5-15-6 (390) 1773	日大法学部学生	小網代	さ が み II

住 所 変 更

(関東支部)

会員№	氏 名	住 所
1194	田 辺 重 忠	神奈川県葉山町下山口1689
7764	土 肥 由 夫	東京都世田谷区新町3-516 エイトハウス5号
4069	五十嵐 保 夫	神奈川県逗子市池子2-2-37
2278	本 間 義 雄	〃 相模原市相生4-10-8
5575	松 本 学	東京都港区南青山1-11-30 宇田川荘内
2307	西 村 真	神奈川県相模原市磯部4100-2 相模台団地4-1-304
4512	三 林 耕 士	東京都中野区東中野1-46-3
6683	一 色 忠 之	神奈川県逗子市久木3-10-3
4467	勝 呂 忠	埼玉県浦和市岸町7-8-22 矢島恭安方
6610	小 林 秀 一	東京都町田市玉川学園3-12-24
3428	J. JANSSEN	神奈川県三浦市初声町三戸2178 (0468)81-5996
4445	東 内 靖 司	〃 横浜市鶴見区駒岡町213-8 東京トヨベツト駒岡社宅
5581	芳 賀 俊一郎	〃 相模原市大沼字東通り3841-170
4516	伊 藤 善 照	東京都文京区千石3-39-3
4475	荒 井 日出男	千葉県習志野市袖ヶ浦3-4-1の202
6104	須 原 真 司	東京都台東区雷門2-6-2
3424	会 田 順 一	武蔵野市御殿山1-13-8
5518	安 藤 康 喬	神奈川県逗子市小坪2-1041
5561	鬼 本 二 郎	東京都港区六本木7丁目12-25

☒ 支部だより (抜萃)

1. 内 海 支 部

◎ 本年度の「レース」スケジュールは下記のとおりきました。

- a) 紀伊水道レース～7月16日 10:00スタート 和歌浦～於亀瀬灯台～白浜
- b) 洲本レース～8月19日 23:00スタート 西宮～洲本
- c) 高松レース～11月2日 23:00スタート 的形～高松

◎ フリート委員

的形フリート	額 川 三 郎	神 村 正 弘
須磨 "	塚 本 修	前 田 豊 一
西宮 "	野 本 謙 作	樽 谷 博
二色 "	岩 崎 清 彦	
和歌山 "	谷 川 晴 彦	津 田 郁 太 郎

◎ 貴伝名氏の新艇MINERVA III世は目下各レースに参加され、その優秀性を発揮しており、今夏のオ8回鳥羽パールレースには、内海支部参加艇スターダスト・ドンドロIと共に力走され、所要時間30時間58分31秒で着順2位を占め、来春4月5日開催の香港～マニラレース(CHINA SEA RACE)に参加の予定とのことです。

(麻里記)

2. 東 海 支 部

◎ 前述のとおり、去る7月8～9日の両日にわたり、衣浦フリート結成記念行事が盛大に催され、NORC本部より関谷会長、飯島専務理事、外山理事、麻里主事臨席し、武豊町役場会館における前夜祭には関谷会長の挨拶あり、相互の親睦を深め、9日の「あきづき」艦上における結成式並に1966°入賞艇表彰式には池田護衛艦隊司令官、藪下幕僚長以下隊員各位参列の上厳粛に行われ、式後直ちに記念レース(同艦々首～美浜町河和沖約8マイル)を挙行し、衣浦フリート所属艇EPICUREANが優勝し両日にわたる行事に有終の美を飾りました。

◎ 才8回鳥羽パールレースには「うずしお」「QUERIDA」「EPICUREAN」
「NAVY BLUE II」の4艇が参加し、いずれも完走しました。

◎ 三谷ランデブー開催～8月19日(土)

前夜祭～19:00～21:00 ホテル竹島1階食堂

三河湾レース～8月20日(日) スタート 10:00

コース～姫島～猿ヶ島回航

3. 京 都 支 部

◎ 前号NORCニュースに記載のレース計画により活発にレースを展開しており、来る8月
26.27日には「近江舞子レース」を開催します。

◎ 新入会員氏名をお知らせします。

中谷 修(しぶき) 田村 正男(タム・タム) 谷口 日出雄(しぶき)

若草 弘一(しぶき) 奥島 敢(オクタビア) 田村 究(タム・タム)

前田 亮平(しぶき) 福村 誠一郎(準・ノア) 樺山 資文(準・シーメート)

大川 美栄子(準・ブルー・ブルー)

4. 西 内 海 支 部

格別なニュースが寄せられていませんので次号にゆづります。(麻里記)

☒ 年 会 費 納 入 に つ い て

前号にて納入方お願いしましたが、事務処理上の関係もあり7月31日現在で未納の方々には
督促状を差し上げました。

お忘れなくお払込みの程重ねてお願いします。

特別会員(オーナー) ￥6,500(油壺記念碑基金含み)

普通会員(クルー) ￥3,500(")

準会員(クルー) ￥1,500(")

払 込 先

現 金 ～ 東京都港区芝罘平町35 船舶振興ビル6階

社団法人 日本外洋帆走協会

銀行送金 ～ 日本勧業銀行京橋支店 (口座名)

住友銀行 虎の門支店 } 日本外洋帆走協会

☒ 関 千 寿 子

NORC事務局勤務として7月10日付にて雇用しました。

事務処理もより一層迅速、正確になりますことと思います。

何分宜しくご指導の程お願いします。

編 集 後 記

内容刷新もなく恐縮です。

原稿をお寄せ下さい。(麻里記)